

【骨塩定量検査】

1) 骨塩定量検査とは

骨密度検査は骨の中にカルシウム・マグネシウムなどのミネラル成分（骨塩量）がどれだけ多く詰まっているかを表す、いわば骨の強さを表す指針となるものです。

骨塩の量は加齢に伴い減少し、バランスが崩れて骨粗しょう症などの病気にかかり易くなります。骨粗しょう症は骨内のミネラル成分が少なくなり、骨折等をしやすくなる病気です。また、骨折が原因で日常生活行動の低下、さらには寝たきりになってしまうことが大きな問題となっています。



2) 検査時間と検査内容

当院では、X線を用いた精度の高いデータの得られる、DEXA法を採用しています。弱いX線を照射する機械の下に腕を置くだけで、性別・年齢に応じた正常値と比較して骨塩量の判定をいたします。検査時間は2～3分と短く、また使用するX線は他の検査に比べて少なくなっておりますので、安心して検査が受けられます。

3) 検査に対する注意事項

骨塩定量の検査は、基本的に利き腕とは逆の腕で行います。検査する側の腕（利き腕とは逆の腕）に骨折等の怪我がありますと、反対側の腕で検査をすることがありますので、事前にお申し出下さい。

4) 検査結果

患者さまの検査結果が表示されます。

